第８１号　令和６年７月１日発行

愛媛県支部報

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
愛媛県支部
発行者　渡部 理教　ＪＡ５ＸＰＤ

ご挨拶

JARL愛媛県支部会員の皆様、この度のJARL社員総会において2期目の支部長を務めさせて頂く運びとなりました、JA5XPD　渡部 理教です。２年間よろしくお願い申し上げます。

アマチュア無線家の人口が減少傾向、また高齢化と良い話はないように思われますが昨年度の電波法改正により、業務上の規制緩和が行われ、営利を目的としない無線の活用方法等の範囲拡大があり、ボランティア活動、学校行事、自主防犯などへの利用、連絡等も運用を可能とする、業務範囲の拡大が図られることとなり、免許取得、開局のメリットに成りえるのではないかと考えます。下記総務省電波利用ホームページにアクセスし確認をしてみてください。
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/others/ama_social_contribution/index.htm
参考になるチラシも下記アドレスへアクセスいただくと見れますので、ご活用ください。
https://www.tele.soumu.go.jp/resource/j/others/ama_social_contribution/001.pdf

今年の「愛媛ハムのつどい」は川内公民館で開催いたします。会場等の都合によりFDコンテストと重なりましたことお詫び申し上げます。とともに万障繰り合わせの上ご参加いただけることをお願い申し上げます。

先の話となりますが、来年度は四国地方本部主催のARDF大会（持ち回り）が、愛媛県支部担当で開催となっております。会員皆様の協力なくして開催は不可能と考えております。スタッフとしてご協力いただける方は、10月開催のARDF審判員講習会の受講をお願い申し上げます。

第５０回　愛媛ハムのつどい

と　き　：　令和6年８月４日（日）　１１：００～出展催事 開場、ジャンク市　１３：００～開会

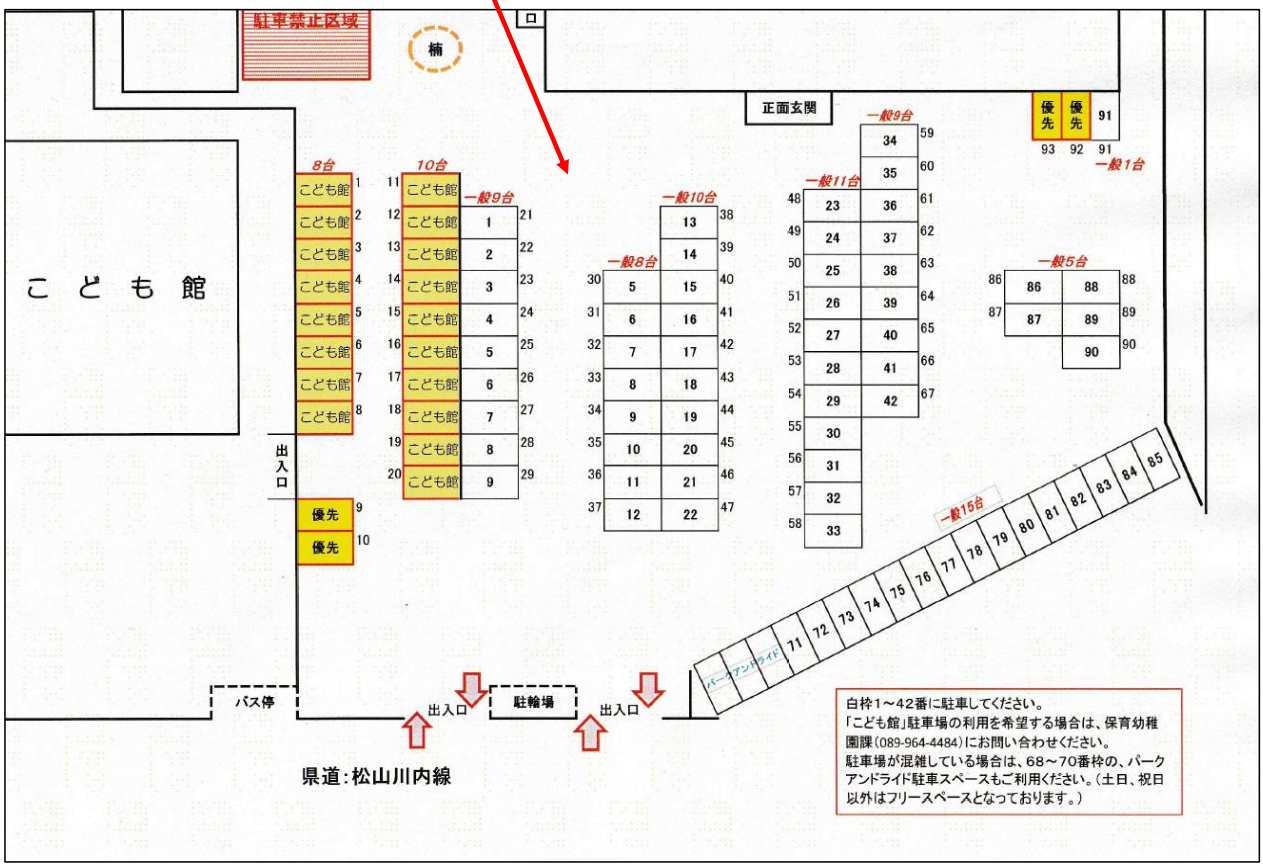
ところ　：　東温市南方２６４　川内公民館

アクセス：　横河原駅　バス停　（伊予鉄　横河原線）
・伊予鉄バス　井内線、河之内線、滑川線（海上線）　乗車　約10分
・徒歩　約５km
川内支所前バス停 徒歩１分

広域地図

駐車場および会場案内

駐車場指定場所（一般）



ご依頼事項とご案内

・駐車場は７０台確保しておりますが、他の施設駐車場と同一敷地内にあり、黄色網掛けの場所へは絶対に駐車しないようにお願いいたします。
・ご来場は極力乗り合わせいただき、駐車場の確保にご協力をお願いいたします。
・伊予鉄バスをご利用いただくと、川内支所バス停から徒歩１分と非常に便利がよいためご検討願います。
・高速道路ご利用の方は川内インターチェンジより５分ほどの距離となっています。
・会場内において喫食スペースがないため、昼食は近隣の食堂またはお弁当を購入し車、公園等でお願いします。くれぐれも水分補給をこまめに行い、熱中症予防に心がけ願います。

プログラム

１１：００～　2階　会議室　（出展希望はja5xpd@jarl.com 渡部まで）
無線機メーカー展示
四国総合通信局
各クラブ展示
ジャンク市　　など
１３：００～　１階　大ホール
開会式
来賓挨拶
四国総合通信局講演（アマチュア無線の今後　仮題）
JARL森田会長講演
愛媛マラソンコンテスト表彰
お楽しみ抽選会
１６：００　閉会予定

特 別 寄 稿

一般社団法人　日本アマチュア無線連盟　JA5SUD　森田 耕司会長

DX通信と私

年に数回、各県の支部長と地方本部役員を集めて地方本部会議を開催していますが、３月に開催された地方本部会議で渡部支部長から「支部報のネタにに困っています。アマチュア無線に関することならなんでも結構ですから投稿をお願いできないでしょうかと懇願されてしまいました。愛媛県は以前からＤＸ通信をやっている方がたくさんいらっしゃいますので、私ごときが投稿しなくてもと、少々恥ずかしくもあるのですが、この記事が少しでも海外との交信に興味がある方の一助になれば幸いです。

１．ＤＸ通信との出会い

国内QSOがそうであるように、ＤＸ(主に海外との交信)においても,様々な楽しみ方があります。ラグチューを楽しむ人、ＤＸハントでより多くの国との交信を目指す人など・・・私はもっぱら後者のほうでDXCC（ＤＸセンチュリー・クラブ）は、世界中の100 以上の「エンティティ」（アワードの授与規則に記載されれている世界の地理的な区分） の アマチュア無線局と交信をすることで加入できるアマチュア無線家のクラブであり､その会員証はアワードとみなされている。この アワードは アメリカ無線中継連盟(ARRL)が発行しており、同連盟の登録商標である。(wikipediaより）を中心に据えたハムライフを送っています。私の今までの無線とのかかわりについては,すでに月刊ＦＢニュース2018年8月号で紹介されいますので興味のある方はご覧になってください。

https://www.fbnews.jp/201808/ham/index.html

ここでもかかせていただきましたが、社会人になって屋上にルーフタワーを上げていつものようにＣＱを出していたらある日、誰かに呼ばれている。ビクター キロ ファイブ・・・・って聞こえるではありませんか。いったいどこだろうと急いで手元のハム手帳をめくってみるとＶＫオーストラリアです。それがわかったとたんに頭の中が真っ白になり、何が何だか分からなくなりいつの間にか交信を終えていました。初の海外との交信です。あの時の印象は今でも強烈に覚えています。そこから急激にＤＸとの交信にのめりこんでいくことになります。勤務先が転勤を伴う会社でしたので、もし遠隔地で勤務になった場合、ペディションで珍しいところからの運用があればＤＸ通信の王道のバンドである14メガは必ず出てくるはずと実家に20ｍのタワーを建てて、モノバンドの６エレを上げました。その時すでに２アマは取得しており、独身でしたので割と金銭的にも自由であることが幸いしました。ちょうどそのころに、ご近所に熱心にＤＸをやっていたＯＭがいらっしゃったので、ＤＸに関する知識をいろいろと教えていただきました。当時は今のようなインターネットを使って自分の欲しい情報を入手するなんてことは皆無でしたので、国内や海外からＤＸに関するニュースを定期購読したり、各地のＤＸクラブがお空で週末に定期的に開催しているネットミーティングを聞いて情報を仕入れるということが一般的でした。そのOMの勧めで歴史あるEDXG（愛媛DXグループ）に入会したのもその頃でした。当時からＪＡ５ＡＵＣ三ツ田さん ＪＡ５ＡＱＣ 花崎さんたちはバリバリ活躍されていました。その中でもＪＡ５ＲＨ 故森さんには公私にわたり大変お世話になりました。アンテナ工事中に心不全でお亡くなりになりましたが、あれから34年が経過しました。温厚で優しい語り方は今でも私の脳裏に焼き付いております。当時は全国各地にＤＸクラブがたくさんありました。その頃、勤務が徳島でしたので徳島ＤＸグループの皆様とも仲良くしていただき、合同ミーティングや懇親会を行ったものです。もちろん地元香川県においてもＤ

好きな連中が集まって自然発生的に香川DXグループなるものがあり、以前は年２回の懇親会も開催されていました。でもどこのクラブもそうであるように高齢化が進んでクラブ自体が解散したり、以前ほど活動が活発でないことはとても残念です。とにかくＤＸに目覚めた若いころは、コンディションがとても良かったので、ワッチすればするほどエンティティが増えていくのが楽しくて仕方がありませんでした。毎年１０月末に開催されるCQ WW SSBコンテストでは珍しい局がたくさん出てくるので、それに合わせて、高松在住ののEDXGメンバーたちと軽トラにタワーやアンテナ、発電機等を積み込んで近郊のロケーションの良い場所に移動運用したのもこのころでした。下界とは比べ物にならないくらいの飛び・耳の良さに感動したものです。

２．現在のＤＸを取り巻く環境

世はまさにインターネット全盛期です。ネットでの情報が溢れています。そんな中でいかに早く情報を仕入れるかが成果の大きな分かれ目となります。用している皆さんの多くは、PCを起動してクラスター情報を眺めながらDXハントを楽しんでいることと思います。私はそのほかに長年使用しているログソフトのテルネットの機能を多用しています。ログソトは高機能を持った様々なフリーソフトが出ていますが、私はEDXGメンバーでもあり、職場の大先輩でもあるＪＡ５ＢＧＡ鈴木ＯＭが作ったBGALOGなるものを愛用しています。メンバーの多くが使用している優れものです。自分の未交信のバンドやモードの局の情報がテルネットに上がると、たちまちジャジャーンと設定した音で知らせてくれます。とにかく機能が多いので使いこなすまではちょっと時間がかかるかもしれませんが、基本的な操作を覚えるだけでもかなり有効な情報が入手できることは間違いありません。困ったときの相談にも電話やリモートで親切にアドバイスいただけます。それから次はLINEのチャットによる情報交換です。以前ＣＱ誌のＤＸコラムでも紹介され話題になりましたが、根こそぎＤＸクラブなるものです。とにかくアクティブな連中ぞろいで、みんなＤＸペディションでのClubLog

Ｘがでのマス埋めで毎回上位に名を連ねている連中ばかりです。もともとはSNSのTwitterでおしゃべりしていた連中が、ハムフェアの前日にどこかに集まって飲み会をやろうと自然発生的にできたものです。会則も会費もありません。メンバーになるためにはハムフェア前日に開催される懇親会に参加することと極めてアバウトな集団です。超ユルユルなルールが今まで続いている秘訣かもしれません。飲んでワイワイやるのが好きな連中ですので場所を変えての懇親会も定期的に開催しています。第１回の懇親会は香川県でした。LINEで「みんなとまた飲みたいね。うどんが好きならいつでも案内するよ」って呟いたらすぐさま反応があり、全国各地のメンバーが香川うどん県にやってきました。今年は愛知県知多半島で開催予定です。とにかくこのノリの良さが良いんですね。朝の挨拶から始まっていろんな情報が飛び交います。ほとんどがＤＸクラスタに上がってない情報です。アクティブな連中がワッチしていますのでその情報量も多くて、パイルアップになる前に交信できる状況が多々あります。これは大きなメリットです。ＤＸクラスタに上がってから相手局を呼び始めたのでは、パイルアップも大きくて目的の局をゲットするのはなかなか難しいと思われます。

お遊びで作ったおそろいのシャツです。ハムフェアでは海外から訪問した局に大うけでした。

お目当ての局と交信出来たら、次なるステップはカードの回収です。相手が珍しい国からの運用であれば是非ともカードはゲットしたいものです。郵便で直接送れない場合はＱＳＬマネージャーにＳＡＳＥを送って回収していました。同封するのはIRC(国際返信切手券）ですが、この世界ではグリーンスタンプ（1ドル紙幣）が一般的です。当方も常備していました。こうして手元にまとまったカードが集まったら、いよいよARRLに申請です。

昔は虎の子のカードを書留で郵送していました。無事に戻ってくるか心配で心配で（^^;)一度にまとまった数のＱＳＬを送ったので、送料だけで 50ドル以上かかってました。今はLoTWという超便利なシステムがありますので、以前のようにカードを送ることもめっきり少なくなりました。カードの回収にしてもClublogに交信データをアップロードしていれば、ＱＱＲＳを利用することで,確実にカードを入手することが可能となりました。それぞれの機能の詳細についてはネットでたくさん情報が溢れていますので検索してみてください。ＤＸを楽しむならLoTWとClublogは外せません！

昔は直接ARRLに送ってました。戻るまで心配でした

・LoTW: https://www.cqpub.co.jp/cqham/LoTw/

・Clublog: https://clublog.org/

３．最後に

社会人になってすぐにDXの魅力に取りつかれて40年以上が経過しました。転勤族でしたので社宅住まいではなかなかアンテナを上げることもままならずアンテナがある高松まで帰れずに珍局をどれほど逃がしたことか‥‥DXCCの世界での「上がり」（全340エンティティーとの交信）であるオナーロール＃１になるまでに27年ほどかかりました。現在であれば、情報量も設備も格段に進歩していますのでもっと早く完成出来ることでしょう。転勤族である私がここまで細く長く続けてこられたのは何といっても家族の理解です。他人から見ればまさにビョーキだと思われる無線バカの私に対しても、嫌な顔一つ見せずに今日もシャックに送り出してくれることに感謝です。次に日頃アンテナのメンテナンスでもお世話になっているローカル局です。数年前に自立タワーの撤去時に誤ってタワーから落下し救急車で搬送された際にも冷静に対応していただき本当に感謝しています。今の設備をメンテナンス出来なくなった時が廃局になる時期かなと感じています。タワーに上る際に少しでも体力をつけておかねばなりませんね。それから前出の根こそぎＤＸクラブや長年メンバーとしてお世話になっているEDXG、FEDXPのメンバーたちとの交流にも感謝です。DXに関する様々な情報を入手することが出来ました。交友関係も格段に広がりました。彼らとの年に 1度の総会に参加するのも大きな楽しみです。参加すれば必ず「やる気」をいただけます(笑)

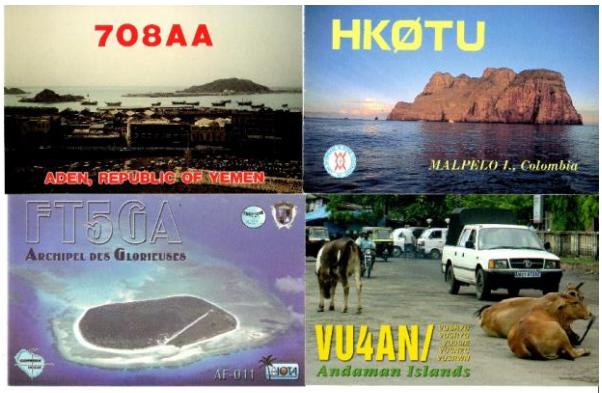
一人でじっくりと楽しむのも一つの方法かもしれませんが、私は仲間とワイワイやりながら楽しむほうが好きですし、長続きすると思います。それからアクティブに運用するのであれば,1アマと１KWは必要です。

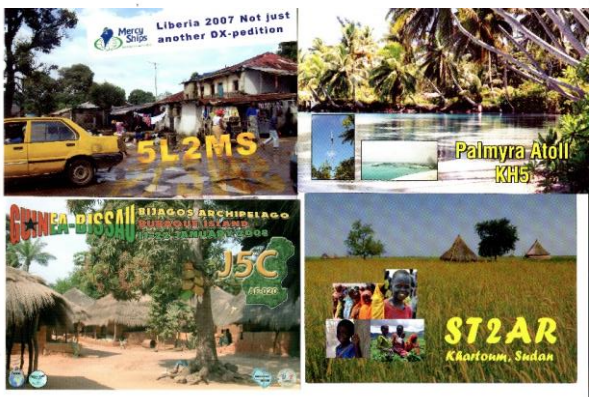
還暦を過ぎてあと何年ハムライフを続けられるのかわかりませんが、この素晴らしい世界をこれからも細く長く楽しみたいと思います。

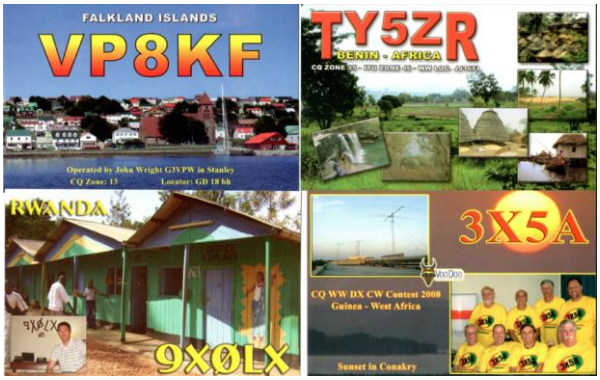
ーたかがメンコ集め　されどメンコ集めー

・EDXG： https://ja5bga.net/

・FEDXP: http://www.fedxp.com/







クラブ紹介

JA5YDI　愛媛アマチュア無線クラブ　JA5ERQ　仲 均会長

JA5YDI 愛媛アマチュア無線クラブ

「愛媛アマチュア無線クラブ」は、1956年（昭和31年）愛媛県内のアマチュア無線技士並びにSWLで結成されたクラブで愛媛県でも最も歴史のあるアマチュア無線クラブの一つです。

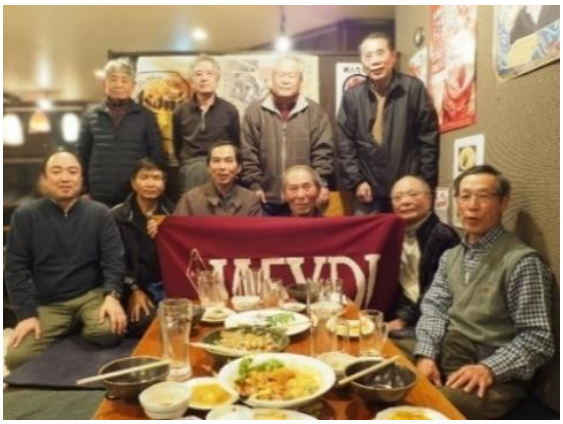
1967年10月４日にJA5YDIを開局し、現在JARL愛媛県支部に加盟している地域クラブで、新居浜市を中心に活動しています。

◎愛媛アマチュア無線クラブでは、次の様な行事・活動を行っています。

・愛媛クラブ会員の親睦を図るため、年2回の懇親会はコロナ禍で中止しておりましたが、5類移行に伴い再開しております。

・毎年、愛媛支部主催のマラソンコンテストに参加しています。

・毎年数回、移動運用を行っております。



・毎月第１と第３日曜の夜19：30から145.26MHｚ±ＱＲＭでＦＭにてロールコールを実施してクラブ員の親睦と無線情報交換を実施しております。

☆アマチュア無線クラブに興味のある方、お気軽にお声がけして下さい。

愛媛アマチュア無線クラブの主な活動記録

① １９６１年6月６日（昭和３６年）
新居浜市および宇摩郡土居町（当時）にまたがる天満の山林火災に際し、土居町より出動要請を受け、火災現場・補給基地・本部等に無線局を開設し、連絡を密にして民家への延焼を防ぐとともに鎮火を早める効果を上げることが出来た。

② １９７６年6月６日（昭和５１年）
第４回愛媛ハムの集いを新居浜市で開催。

③ １９８７年１１月２日～８日（昭和６２年）新居浜市制５０周年を記念してＪＡ５ＲＬ局を運用した。
新居浜市制５０周年を記念してＪＡ５ＲＬ局を運用した。
約３，０００局と交信。　交信総数は約７,０００局でアワードは６５局から申請がありました。

④ １９８９年７月３０日（昭和６４年）
第１７回愛媛ハムの集いを新居浜市で開催

⑤ １９９７年８月２４日（平成９年）
第２５回愛媛ハムの集いを新居浜市で開催。ＪＡ５ＲＬ局を運用
新居浜市制委６０周年を記念し新居浜市役所のクラブと共同で運用し約６、０００局と交信。

⑥ ２００７年１１月３日（平成１９年）
新居浜市制７０周年を記念してクラブ員の個人局で運用し約10,000局と交信アワード（２種類）
75局から申請がありました。

⑦２０１８年３月３１日（平成２９年度事業）
市制８０周年記念アマチュア無線局開設事業として特別局8Ｊ5Ｎ80Ｙを平成２９年８月１日から１２月３１日まで運用し７､４９０交信を行い、平成２９年４月２日から平成３０年３月３１日まで JA5YDIとクラブ員の個人局での運用は5.821交信で総合計は13,311交信を行いました。
また８０周年記念アワードの申請は６４局から申請がありました。

☆愛媛アマチュア無線クラブは会員募集中です☆
ja5ydi(AT)jarl.comにお問い合わせください

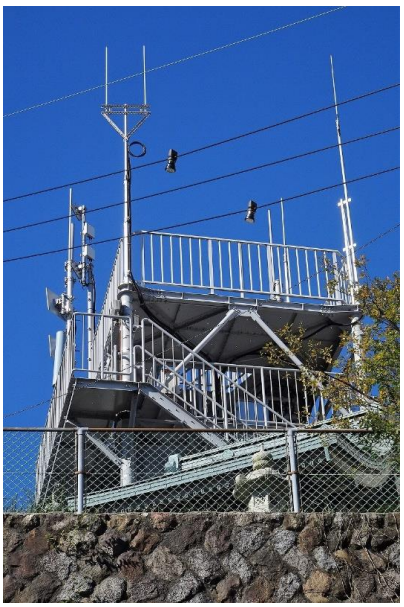
愛媛レピータ研究会　JH5QJE　中村 雅和会長

愛媛のレピータ黎明期

私は開局して当時は飛ばないと言われていた430MHz帯にすぐに興味を持ち、どのくらい局がいるのだろうと運用をしていまして、トリオ主催のコンテストで四国の1位となったこともありました。また、JARLニュースや CQ誌でよく目にしたのはレピータ関連の記事でして、日本でレピータが認められるのかと思っていましたが、昭和57年3月にJARL事務局があった東京 巣鴨に我が国初のアマチュア業務用ＦＭレピータ局 JR1WAが開局いたしました。そしてほどなく全エリアにJARL直轄局が設置され、JARL四国地方事務局があった松山市大手町に 439.98MHz のJR5WAが設置されるとともに、団体レピータ局の募集が始まりました。

その団体レピータ局募集要項を見ると、免許人は JARL本部で、設置希望者が機材費や

電気代等経費はすべて負担するものの、レピータ局はクラブチャンネル化防止のため誰でも自由に使用できることが条件で、当時発売されたレピータ機本体はどのメーカーも約50万円したことやレピータに対応したリグもごくわずかであり、これではなかなか応募者はいないのではと思っていました。ただ、レピータ自体には興味があったため、まだまだレピータ対応機種が少ない中、トリオ（現ケンウッド）から発売されたTS-780というレピータ対応のデュアルバンドオールモード機を入手し、オプションの88.5Hzトーンを組み込んだりしていたところ、地元に団体レピータ局を開設したいので協力してほしいとJA5BED永田氏から話があり、それがレピータに首を突っ込んだ始まりでした。



団体レピータ局は直轄局と異なり,全て自前で資金を調達しなければならず、まずそれをどうするかということになり、松山市内に団体レピータ 1局を開設するだけの組織づくりを考えていましたが、レピータ局は JARLが免許人で団体レピータ局開設には JARL県支部長の決裁が必要だったことから当時の県支部長であるJA5AH松本純一氏に相談したところ、「レピータの電波は松山市外にも当然伝搬するので、愛媛の名を付けた,横断組織にしては」とのアドバイスがありました。これは,松山のみにレピータ局ができたのでは、それ以外の地域のハム仲間が,レピータの恩恵を受けることができないことから、県域組織にしようとの,松本氏のお考えがあったためと思いますし、このことが県内レピータの県域組織誕生のきっかけでした。
そして、昭和57年11月18日に、中予のハム仲間が集まり 「愛媛レピータ研究会」の設立総会を開催し、松本氏が会長に就任されました。そして、JARL県支部会議で団体レピータ局開設の説明をしたところ、南予・東予の方も加入していただきました。

昭和58年になり県内初の団体レピータ局JR5WC439.82MHzが、松山市森松のアマチュア無線家のタワーに開設されました。そこで他地域の団体レピータ局の動向を調べてみたところ徳島市内で４局開設されるなど、周波数獲得合戦が始まっているのに驚きました。当時のレピータ局への割り当て周波数は439.52MHz～439.98MHzで、439.90MHz～439.98MHzは直轄局用でした。このため早くチャンネル確保をしようとする動きになったと思うのですが、レピータ機材代などを考えるとよくお金が集まるものだなと感心しました。このような動きを受けてすでにメンバーだったJA5SMZ山崎氏が中心となって宇和島市と南宇和郡を結ぶレピータ局開設や、同じくJA5TJF鈴木氏が中心となって宇摩郡土居町にレピータ開設の動きがあり、愛媛レピータ研究会として全面支援することになりました。そして、JR5WK 439.76MHzとJR5WO439.64MHzが開設され、これが県内横断的レピータ組織の礎となりました。

さて、レピータ黎明期においては、現在と異なりレピータ局の開設が認められた場合、周波数は JARLレピータ委員会が割り当てていて、基本的に要望者が周波数について口出しをすることはできませんでした。 しかしながら、当初から限られたチャンネルの取り合いとなった結果、1・2・3エリアではすぐ周波数が逼迫してしまいダブル・トリプルアクセスの状況が多発したことから1・2・3エリアでのレピータ局の運用時には、利用者は1/4λの1段アンテナを使用し1W以下で行うことが前提になりました。しかしながら、それでもレピータ同士の混信がひどくなったことから、一時的ではありましたが、新規開設やアンテナ交換の場合、全国の430MHzレピータ局のアンテナは3/4λ1段GP（ダイヤモンドF-701R）しか認めないという規制もありました。現在、レピータ局のアンテナ規制はなくなりましたが、430 レピータについては一部のエリア・地域などを除き周波数が一杯の状況ですので、新規開設は至難の業となっています。

ところで、現在、JR5WA、JR5WC、JR5WO の設置場所が黎明期と異なっています。これはそれぞれ従前の設置場所の都合によるもので、幸いにもよいロケーションを確保できていますが、今のようにレピータ局移転に関する規制が厳しくなかったことにもよります。特にJARL直轄局である JR5WAは、当時JARLレピータ委員だった

JA5AK 島田氏からレピータ用周波数が439MHz台全域に拡張される予定があり、レピータ局同士の混信を避け広域なサービスエリアを持つ計画レピータ局制度の構想があるため、適切な移転場所を探してほしいとの打診がありました。それを受け関係各局に相談したところ、標高約1000 mの高縄山が第一の候補になりましたが、県立自然公園の特別地域であり、土地は高縄寺が所有しているとのことでハードルが相当高く、とても可能性は低い状況でした。そこで動いてくれたのがJA5AV 石原氏で、その広い人脈を生かして展望台所有者である北条市役所や高縄寺奉賛会に話を通していただきました。これが、現在も瀬戸内海沿岸で有数のサービスエリアを持つ439.40MHz計画レピータ局誕生の始まりです。（2022年の秋には松山市役所の許可を得て、JR5WAの劣化が進んだ 430MHz・2400MHzのアンテナとそのマストを交換した結果、「430MHz帯の伝搬状況が依然と比較して、格段に良くなった」と利用者からのコメントがありました）。

また、標高1200 mの久万高原町陣ヶ森へJR5WCを移転させる際にも石原氏に関わっていただき、国有地使用が認められた経緯がありました。なお,標高790mの四国中央市呉石高原へJR5WOを移転させる際はJA5TJF鈴木氏を始めとする関係者のご協力で,移転場所を確保できましたし、津島町小岩道に設置されているJR5WKの拡充にはJA5OF 枇杷田氏を始めとする関係者の並みならぬご尽力がありました。もちろん、これらをやりくりする会計面では、JH5CPS大茂矢氏のご苦労があったたことは言うまでもありません。

このように,愛媛のレピータ黎明期において、今回お名前を出した方以外にも,多数の方々のボランティアによるご参画を得ることができたことが、全国的にも珍しい県域レピータ組織にと結び付きました。レピータ局が,初めて県内に設置されてから40年以上が経過して,県の地域防災計画で紹介されるなど,なくてはならない存在となっているものの、古くなった機器への維持・管理用務は,直轄局を含め役員等が時間を割き、手間をかけてレピータ資源を残そうとボランティア活動で行っており、現地に行くための経費等も自前で負担しています。

携帯電話の普及もあり、アマチュア無線の免許を取得される新規の方はレピータ黎明期当時に比べ激減しており、県内の開局者減少の影響は、この研究会の財政状況の悪化をも招いていて、しかも役員の高齢化が容赦なく進むなど非常に厳しい会運営が続いています。アマチュア無線は趣味の王様と言われていましたが、インターネットの普及は特に若い方の電波への関心の低下にもつながっているため国もワイヤレス人材の育成に役立てる方向に舵を切り、アマチュア無線を使っての社会貢献活動を積極的に勧めたり、無免許の方の体験運用を容易にしたりと新たなフェーズに入って来ています。それらを活用することでアマチュア無線の免許取得者増加に結びつけ、ひいてはJARLや当研究会の会員増加の契機になればと思っています。阪神淡路や東日本の大震災において非常通信でアマチュアのレピータ局が活躍したことはよく知られていますが、電話やインターネットがつながらなくなった際に有力な情報ツールになるのは無線でして、それを中継する機能を持つレピータ局という通信インフラを何とか維持できればと願っています。特に愛媛は主要な地域同士が高い山々で仕切られていることからレピータは不可欠なものだと思いますが、レピータは自然伝搬でないことから電気代や保守メンテナンス等を含め経費がかかりますので、皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、今回は黎明期４か所のレピータの経緯等に触れましたが、愛媛レピータ研究会の詳しい内容についてはホームページに掲載していますので、ご覧いただければ幸いです。

（レピータ局の写真は上から現在のJR5WA、JR5WC、JR5WK、JR5WOです）

NAGATA musen
楽しい世界へ仲間入り！
アマチュア無線の資格習得から無線局開局・楽しみ方まで

アマチュア無線専門店
永田無線
松山市築山町１２－５

第５０回 愛媛マラソンコンテスト結果

今年度は３１局の初参加がありました。多数のご参加ありがとう御座いました。

参加局の中で日数マルチを得点から除外している局が多く見受けられましたので得点は救済処置とし再計算しています。

また認可していない、電子申請フォームで提出されている局も、救済処置とさせていただきましたが、電信・電話、あるいはバンドの区分集計がなされていないため、審査に時間を要します。

提出前に区分や序列が整理されているか確認し提出して下さい。

この改善がなされていないため電子申請の障害となっていますのでお気を付け下さい。

来年は市町村ナンバーだけとし、シンプルなマルチとすることにより電子申請の受付を予定させていただきます。

【県内局】　　★　入賞者

（１）　個人電話の部

①　オールバンド

★ ＪＨ５ＧＣＶ　久保　光枝
★ ＪＨ５ＰＷＧ　山川　妙子
ＪＡ５ＹＬ　土居　チズ江
ＪＡ５ＸＬＯ　吉川　和子
ＪＡ５ＩＢＹ　徳永　香
ＪＡ５ＶＱＦ　相原　嘉男
ＪＡ５ＤＶＷ　山下　福生
ＪＡ５ＸＢＪ　篠原　久雄
ＪＡ５ＢＦＫ　伊藤　順一
ＪＡ５ＭＦＹ　久山　昭江
ＪＡ５ＯＨＵ　片山　良浩
ＪＡ５ＩＣＹ　藤井　光雄
ＪＪ５ＰＸＨ　谷口　政賀津
ＪＲ５ＩＰＬ　赤松　千枝
ＪＡ５ＩＤＨ　髙橋　寛
ＪＡ５ＥＶＭ　船岡　藤雄
ＪＪ５ＭＩＢ　安部　暢哉
ＪＡ５ＲＥＦ　清水　宏典
ＪＨ５ＨＤＡ　関岡　久志

②　１．９MHz

★ ＪＡ５ＣＢＸ　久保　國夫

③　３．５MHz

★ ＪＡ５ＷＨＫ　小畑　健二
ＪＩ５ＧＬＧ　髙橋　忠明

④　７MHz

★ ＪＥ５ＤＬＥ　井上　耕造
ＪＪ５ＲＡＸ　矢野　光汰朗
ＪＧ５ＱＷＶ　國本　政行

⑤　１４MHｚ

★ ＪＪ５ＲＧＹ　平岡　誠一郎

⑥　２１MHｚ

⑦　２８MHｚ

該当者なし

⑧　５０MHz

★ ＪＡ５ＲＣＴ　黒田　清忠

⑨　１４４MHz

★ ＪＩ５ＫＫＵ　一色　さつえ
★ ＪＥ５ＭＨＰ　高橋　茂子
ＪＨ５ＭＯＶ　高橋　靖男
ＪＡ５ＣＣＦ/5　中村　悟
ＪＲ５ＴＩＯ　青木　正
ＪＨ５ＭＯＥ　久保　雅英
ＪＥ５ＥＴＯ　田鍋　清
ＪＥ５ＡＮＢ　河野　好憲
ＪＡ５ＥＺＵ　髙橋　荒二
ＪＨ５ＱＪＫ/5　長野　雄一
ＪＲ５ＬＰＲ　村上　隆
ＪＨ５ＯＫＬ　小田　善一
ＪＡ５ＨＷＫ/5　中村　仁美
ＪＡ５ＩＯＥ　藤本　力
ＪＡ５ＮＣＫ　松嶋　明俊

⑩　４３０MHｚ

★ ＪＩ５ＣＫＦ　菅　光眞
ＪＮ４ＡＮＺ/5　板川　明
ＪＩ５ＬＮＰ/5　松岡　崇文
ＪＧ５ＤＨＸ/5　小野　省己

⑪　１２００MHz

★ ＪＨ５ＱＹＺ　宇都宮　泰助

⑬　５６００MHz

★ ＪＲ５ＥＥＫ　仙波　満夫

⑭　１０．１ＧＨｚ

★ ＪＡ５ＧＹＵ　近藤　恒幸

⑯　４７GHz

★ ＪＡ５ＪＳＵ　久山　出

（３）　個人電信の部

★ ＪＡ５ＢＱＣ　田中 隆年
ＪＥ５ＩＷＡ　中岡 忠幸

ＪＨ５ＨＤＡ　関岡 久志
ＪＡ５ＤＥＨ　田岡　康俊
ＪＡ５ＥＶＭ　船岡 藤雄
ＪＧ５ＣＡＪ　渡部 真也

（４）　ジュニア

★ ＪＪ５ＭＭＫ/5　大塚　ゆうみ

（５）　社団局の部

★ ＪＡ５ＹＸＢ　愛媛YLﾊﾑｸﾗﾌﾞ
ＪＡ５ＹＤＩ　愛媛ｱﾏﾁｭｱ無線ｸﾗﾌﾞ
ＪＨ５ＺＺＪ　東温ｱﾏﾁｭｱ無線ｸﾗﾌﾞ
ＪＲ５ＹＡＥ　北条市ｱﾏﾁｭｱ無線ｸﾗﾌﾞ
ＪＲ５ＹＤＭ　石鎚ﾊﾑｸﾗﾌﾞ
ＪＨ５ＺＨＲ/5　松山地区ＳＨＦ研究会
ＪＨ５ＺＴＪ　ﾏｲｸﾛｳｪｰﾌﾞ愛媛Ａ･Ｍ･Ｃ
ＪＨ５ＺＭＳ　ﾏｲｸﾛｳｪｰﾌﾞ松山Ａ･Ｍ･Ｃ
ＪＡ５ＹＡＸ/5　愛媛県庁ｱﾏﾁｭｱ無線ｸﾗﾌﾞ

（６）　クラブ対抗の部

★ 38-4-4　愛媛ＹＬﾊﾑｸﾗﾌﾞ
38-1-3　愛媛ｱﾏﾁｭｱ無線ｸﾗﾌﾞ
38-1-18　東温ｱﾏﾁｭｱ無線ｸﾗﾌﾞ
38-1-4　大洲ｱﾏﾁｭｱ無線ｸﾗﾌﾞ
38-4-21　愛媛２ｍSSB愛好会
38-4-27　四国中央ｱﾏﾁｭｱ無線ｸﾗﾌﾞ
38-4-23　松山地区ＳＨＦ研究会

【県外局】

（１） 個人電話の部

①　オールバンド

★ ＪＡ４ＩＯＭ　大石原　修
★ ＪＪ４ＤＱＹ　伊佐　直樹
ＪＡ４ＨＲＲ/3　三玉　吉秀
ＪＲ２ＵＴＨ　松林　淳
ＪＧ１ＣＦＯ　近藤　克之
ＪＡ６ＦＸＬ　郡山　洋子
ＪＨ４ＦＵＦ　坂元　一寛
ＪＦ２ＦＩＵ　丸川　芳文
ＪＥ６ＥＢＴ　千田　良一
ＪＲ５ＰＰＮ　鈴木　重香
ＪＨ２ＱＦＷ　伊藤　芳樹
ＪＨ７ＵＪＵ　西内　伸広
ＪＨ４ＮＨＦ　末廣　則夫
ＪＨ２ＯＦＪ　榊原　数晴

②　１．９MHz

★ ＪＡ５ＣＢＵ　立花　眞一

③　３．５MHz

★ ＪＧ６ＴＸＷ　清田　政勝

④　７MHｚ

★ ＪＡ５ＬＥＵ　大崎　猛志
★ ＪＨ７ＫＳＵ　齋藤　信雄
ＪＡ２ＵＬＶ　伊藤　和彦
ＪＪ３ＴＴＨ　宮本　忠明
ＪＨ４ＤＡＹ　山本　敏郎
ＪＩ１ＲＳＪ　船山　敏
ＪＡ２ＶＨＧ　石井　盛隆
ＪＡ４ＫＣＧ　吉岡 昌彦
ＪＦ２ＸＤＯ　増田　均
ＪＦ７ＦＡＧ　菊池　廣美
ＪＡ４ＦＰＷ　長尾　和廣
ＪＪ５ＲＢＧ　下込　昭人
ＪＲ１ＵＰＸ　板倉　徹
ＪＬ４ＯＵＸ　池上　一郎
ＪＮ４ＰＭＯ/4　久永　透
ＪＡ１ＪＵＲ　中村　英男
ＪＳ３ＣＯＶ　合田　勝紀
７Ｌ１ＱＣＪ/6　畔上　重正
ＪＩ３ＷＨＲ　川角　辰治
ＪＡ７ＳＫＬ　阿部　興吉
ＪＥ１ＥＮＩ　田中　義男
ＪＡ８ＩＢＵ　細谷　彰
ＪＩ２ＩＷＢ　松岡　邦彦
ＪＨ７ＮＯＴ　木内　慎
ＪＡ８ＤＨＶ　中嶋　裕一
ＪＭ３ＱＩＳ/3　筌場　幸一

⑧　５０MHz

★ ＪＡ４ＱＵＩ/4　江田　光信
ＪＨ４ＰＺＫ/4　畑　健二
ＪＡ３ＰＹＨ　岡田　邦夫

⑨　１４４MHz

★ ＪＲ４ＭＲＪ　桑原　猛
★ ＪＯ４ＤＦＸ/4　中野　幸宏
ＪＡ４ＱＺＤ　菅原　徹
ＪＲ５ＢＵＡ　下川　保
ＪＥ４ＫＬＩ　堂官　利秀
ＪＫ４ＤＵＪ　井下　義雄
ＪＩ５ＳＡＯ　丸山 誠
ＪＨ４ＬＧＡ　木原　清登
ＪＪ５ＰＳＭ　小河　亮平
ＪＡ４ＩＦＳ/4　河野　武俊
ＪＥ５ＢＮＦ　橋本　章

⑩　４３０MHz

★ ＪＨ４ＷＡＺ　松浦　和成
ＪＥ６ＣＩＹ/4　福間　司

⑪　１２００MHz

★ ＪＨ４ＰＵＳ　瀧口　豊

⑭　１０．１GHz

★ ＪＡ４ＲＦＤ/4　田中　久司

（２）　個人局電信の部

★ ＪＲ２ＵＴＨ　松林　淳

★ ＪＦ２ＦＩＵ　丸川　芳文

★ ＪＧ１ＣＦＯ　近藤　克之

ＪＡ４ＦＰＷ　長尾　和廣

ＪＡ６ＦＯＦ　郡山　勝視

ＪＪ６ＤＰＱ　伊藤　太七

ＪＦ１ＤＦＡ　阿部　征史

ＪＨ４ＪＵＫ　末田 廣文

ＪＡ５ＤＱＲ　小松　光男

ＪＡ０ＣＴＷ　中村　志朗

ＪＡ５ＣＢＵ　立花　眞一

ＪＯ１ＰＺＲ　山内　雅昭

ＪＡ６ＳＥＵ　生田　誠二

ＪＨ３ＦＴＺ　中谷　文昭

ＪＳ３ＣＯＶ　合田　勝紀

ＪＡ７ＡＣＶ　岸　　秀

ＪＡ４ＧＱＤ　沢田　哲雄

ＪＦ２ＥＲＨ　尾崎　悟

ＪＡ６ＵＲＺ　宮脇　洋子

ＪＨ７ＵＪＵ　西内　伸広

ＪＭ８ＦＥＩ　三浦　実

ＪＡ２ＨＵＶ　仁科　豊

ＪＨ２ＡＣＰ　大村　睦

ＪＨ１ＮＸＵ　井口　昭敏

ＪＡ１ＢＹＹ　佐藤　英二

ＪＮ１ＫＭＩ　飯山　高志

ＪＨ４ＦＵＦ　坂元　一寛

ＪＲ２ＷＬＱ　菅　啓司

ＪＫ２ＶＯＣ　福田　佳広

７Ｋ１ＪＦＭ　梯　　達郎

ＪＡ７ＳＫＬ　阿部　興吉

ＪＡ１ＧＴＦ　石田　弘市

ＪＥ１ＰＭＱ　菊池　真一

ＪＧ６ＡＸＢ　日吉　健二

ＪＡ９ＢＦＡ/1　小木曽　秋夫

ＪＫ１ＰＷＴ　九門　康之

ＪＧ１ＢＧＴ　氏家　悟

ＪＥ８ＴＲＵ/2　佐藤　直樹

ＪＪ４ＤＱＹ　伊佐　直樹

ＪＧ１ＬＺＹ　島　泰司

ＪＡ２ＫＱＹ　山本　泰生

（３）　ＳＷＬ

★ ＪＡ６－７８５９　　上津原 立志

ＪＡ１－２２８２５　大森　功

ＪＡ４－３７２９４　冨田　浩司

ＪＡ３－６６４４　　川崎　久幸

（４）　社団局の部

★ ＪＡ５ＺＮＯ　讃岐うそどりﾊﾑｸﾗﾌﾞ

ＪＲ４ＺＭＳ　とどｸﾗﾌﾞ

ＪＪ２ＹＫＺ　Yoshitec　ﾊﾑｸﾗﾌﾞ

（５）　クラブ対抗の部

★ 20-4-59　　愛知ｺﾝﾃｽﾄｸﾗﾌﾞ

★ 33-1-9　　光ｱﾏﾁｭｱ無線ｸﾗﾌﾞ

35-1-4　　JARL竹原ｸﾗﾌﾞ

11-1-2　　JARL横須賀ｸﾗﾌﾞ

36-4-8　　四国ﾚｼﾞｬｰﾊﾑｸﾗﾌﾞ

10-4-68　　全国CW愛好会

36-1-1　　JARL香川ｸﾗﾌﾞ

33-4-01　　ﾏｲｸﾛｳｪｰﾌﾞ山口

11-4-76　　599 Contest Club Japan

27-1-09　　赤石ｸﾗﾌﾞ

27-4-34　　西国ｺﾝﾃｽﾄｸﾗﾌﾞ

※クラブ代表者が参加メンバーの獲得点数一覧表を未提出のため無効とする。

10-4-145　　A1 CLUB

愛媛県支部予算

令和５年度決算

単位：円

科目		当期予算額	当月額	累計額	備考
前期繰越高		288,000	635,072	564,530	
収入	地方本部費	278,700	0	278,700	
	賞典収入	0	0	0	
	寄付金収入	0	0	0	
	受取利息	0	3	6	
	雑収入	0	0	4,200	
	小計	278,700	3	282,906	
支出	会議費	15,000	10,339	27,609	
	催物費	165,000	0	133,704	
	渉外費	0	0	0	
	通信費	5,000	0	940	
	交通費	0	0	0	
	消耗品費	20,000	0	7,447	
	事務印刷費	10,000	29,680	29,680	
	コンテスト費	55,000	9,118	49,118	
	賞典費	3,000	0	0	
	非常通信費	15,000	0	13,000	
	諸会費	0	0	0	
	雑費	0	0	0	
	小計	288,000	49,137	261,498	
次期繰越高		278,700	585,938	585,938	

令和６年度予算

単位：円

科目		予算額	前期予算額	増減額	備考
前期繰越高		276,530	285,830	△9,300	
収入	地方本部費	278,400	278,700	△300	
	賞典収入	0	0	0	
	寄付金収入	0	0	0	
	受取利息	0	0	0	
	雑収入	0	0	0	
小計		278,400	278,700	△300	
支出	会議費	50,000	15,000	35,000	
	催物費	200,000	165,000	35,000	
	渉外費	0	0	0	
	通信費	5,000	5,000	0	
	交通費	0	0	0	
	消耗品費	20,000	20,000	0	
	事務印刷費	10,000	10,000	0	
	コンテスト費	70,000	55,000	15,000	
	賞典費	5,000	3,000	2,000	
	非常通信費	15,000	15,000	0	
	諸会費	0	0	0	
	雑費	10,000	0	10,000	
小計		385,000	288,000	97,000	
次期繰越高		169,930	564,530	88,000	